

整理番号				部 長				課 長				係 長				担当者									
128				事務事業評価表 令和5年度実施事業																					
事業名		生涯学習推進事業										担当課		生涯学習課											
基本目標		3		未来を拓く人を育む教育・文化のまち										担当係		生涯学習係									
施策項目		3		生涯学習										計画期間		令和5年度 ～ 令和5年度									
主な取組		1		学習関連情報の提供										事業区分		一部委託									
予算科目		会計		款		項		目		大事業															
		1		10		5		1		生涯学習推進事業費															
目的と方針【PLAN】		市民一人ひとりが生涯にわたって自ら学び、その成果が本市のまちづくりに活かされる生涯学習社会の形成に向け、総合的な学習環境づくりを進めます。																							
事業概要【PLAN】		全ての市民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して自ら文化的教養を高められるような環境を醸成するため、各種講座、学級を開催するとともに、地域自治組織等が主催する生涯学習事業に対して支援を行います。 市民の生涯学習に関する活動等を推進のため、地域で活躍している様々な人材を生涯学習ボランティアとして人材バンクに登録し、市民学習などで活躍するセンターを設置します。																							
対象【PLAN】		市民										意図【PLAN】		市民自ら社会教育や生涯学習のできる環境を整え、自主的に生涯学習や社会教育に取り組むことができる。すべての自治組織で自主的に活動ができるようになる。											
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		生涯学習指導員等の助言により市民自らが、地域に暮らす人々の自主的な学びにつながるよう、生涯学習指導員が講座等を主催するとともに、地域自治組織などの団体を支援する。																							
事業費【D0】		年度		単位		04年度		05年度		06年度		07年度		08年度		09年度									
						(実績)		(実績)		(予算)		(予算)		(予算)		(予算)									
財源内訳	国庫支出金		千円		0		0		0																
	都道府県支出金		千円		0		0		0																
	地方債		千円		0		0		0																
	その他		千円		0		0		0																
	一般財源		千円		798		0		1,655																
	事業費合計		千円		798		883		1,655																
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】																									
指標名		単位		達成条件		区分		R5年度		R6年度		R7年度		R8年度		R9年度									
支援組織数		件		実績値が目標値以上となること		目標値		15		16		17		18		19									
						実績値		15																	
						達成率		100.0%																	
(2) チェック項目による評価【CHECK】																									
		評価視点						評価の結果																	
必要性		・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか						平成26年度公民館が交流館へ移行となり、各地区公民館で実施していた公民館事業が地域自治組織での自主的取り組みができるよう支援を行っている。 人材バンク登録者の高齢化が進んでいる。また、ボランティア活動分野の拡充や登録者の増員を進める必要がある。																	
有効性		・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか						生涯学習事業は、教育委員会主催（学習の場の提供）と地域自治組織等が主催する地域計画に基づく生涯学習事業に区分される。しかし、地域自治組織の「地域づくり計画書」の策定が進んでいないため地域自治組織主催の生涯学習事業に差が生じており地域自治組織における「地域づくり計画書」の策定が必要である。																	
効率性		・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか						生涯学習指導員を各総合支所に配置して令和6年度が3年目となる成果によって人員削減等を検討できる。																	
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】																									
今後の方向性		維持		事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		地域自治組織における「地域づくり計画書」の作成は、協働まちづくり課が主体的に行うが、生涯学習課としても支援（指導・助言）を行う。 生涯学習ボランティア活動支援センターの利用と登録者増加に向けて、事業PRと人材育成事業を展開する。																			

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	生涯学習指導員配置事業					担当課	生涯学習課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち				担当係	生涯学習係
施策項目	3	生涯学習				計画期間	令和5年度 ～ 令和5年度
主な取組	2	学習機会の充実支援				事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	10	5	1	生涯学習推進事業費		

目的と方針 【PLAN】	市民一人ひとりが生涯にわたって自ら学び、その成果が本市のまちづくりに活かされる生涯学習社会の形成に向け、総合的な学習環境づくりを進めます。
-------------------------	--

事業概要 【PLAN】	社会教育をはじめとした生涯学習に関する相談支援に加え、社会教育関係団体の育成を支援するため指導員を配置します。
----------------	---

対象 【PLAN】	主に地域自治組織の生涯学習担当者 市民	意図 【PLAN】	地域自治組織等の生涯学習担当者が指導助言を受けなくても
--------------	------------------------	--------------	-----------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	各地区自治組織の中に生涯学習の中心的リーダーが存在し、市民が自主的に学ぶことができる講座等を開催している。
----------------------	---

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0			
	一般財源	千円	16,606	16,788	16,609			
	事業費合計	千円	16,606	16,788	16,609			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
生涯学習指導員数	人	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	5				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	地域で行う事業の円滑な推進のため生涯学習指導員を設置し、指導助言に当たる。また、引き続き市民対象の講座等の開催を担当。 （社会教育指導員配置事業を終了し、生涯学習指導員配置事業に事業変更）市民の自主的な活動につながる様支援が必要である。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	交流館を拠点としたサークル活動が盛んになっているがその正確な数字を毎年調べる必要がある
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	各地域によって教室と人数が違うため令和7年度に平準化を検討する。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	改善	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	地域自治組織が主体的に生涯学習事業を展開できる体制づくりを支援する。
--------	----	-------------------------	------------------------------------

整理番号 130				事務事業評価表 令和5年度実施事業				部 長	課 長	係 長	担当者
事業名		生涯学習ボランティア活動支援センター運営事業				担当課		生涯学習課			
基本目標		3 未来を拓く人を育む教育・文化のまち				担当係		生涯学習係			
施策項目		3 生涯学習				計画期間		令和5年度 ～ 令和5年度			
主な取組		2 学習機会の充実支援				事業区分		直営			
予算科目		会計	款	項	目	大事業					
		1	10	5	1	生涯学習推進事業費					
目的と方針【PLAN】		市民一人ひとりが生涯にわたって自ら学び、その成果が本市のまちづくりに活かされる生涯学習社会の形成に向け、総合的な学習環境づくりを進めます。									
事業概要【PLAN】		市民の生涯学習に関する活動等を推進のため、地域で活躍している様々な人材を生涯学習ボランティアとして人材バンクに登録し、市民学習などで活躍するセンターを設置します。									
対象【PLAN】		市民				意図【PLAN】		学習の成果や体験、趣味などを地域に生かしボランティア指導者としての活動を通じて、生きがいを感じる。			
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		市民が自ら自発的に生涯学習に参加し、ボランティア指導者として生涯学習人材バンクに登録し活動すること。									
事業費【D0】		年度			04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財源内訳	国庫支出金	千円			0	0	0				
	都道府県支出金	千円			0	0	0				
	地方債	千円			0	0	0				
	その他	千円			0	0	0				
	一般財源	千円			0	0	0				
	事業費合計	千円			2,339	2,787	0				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】											
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
活動数		回	実績値が目標値以上となること	目標値	152	176	200	224	250		
				実績値	269						
				達成率	100.0%						
(2) チェック項目による評価【CHECK】											
評価視点					評価の結果						
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				各自治組織等が行う講座や学習会の講師として活用が図られており、活動内容の充実に寄与している。						
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				利用件数も伸びていることから、事業の効果はあると判断している。						
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				経費は最低限となっている。ボランティア指導員には、交通費と材料費のみの支給になっている。						
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】											
今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			生涯学習推進事業へ統合し、生涯学習ボランティア活動支援センターの利用と登録者増加に努め、市民や地域の生涯学習に関することを支援する。						

整理番号
131

事務事業評価表

令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	通学合宿体験活動事業					担当課	生涯学習課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち				担当係	生涯学習係
施策項目	3	生涯学習				計画期間	令和５年度　～　令和７年度
主な取組	2	学習機会の充実支援				事業区分	一部委託
予算科目	会計	款	項	目	大 事 業		
	1	10	5	1	通学合宿体験活動費		

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが生涯にわたって自ら学び、その成果が本市のまちづくりに活かされる生涯学習社会の形成に向け、総合的な学習環境づくりを進めます。		
事業概要【PLAN】	「生きる力」を身につけ、社会に貢献する自立した人間を育成することを目指し、市内の小学５年生を対象とした通学合宿を行います。		
対象【PLAN】	伊達市立小学校　５年生に対し合宿体験を行う	意図【PLAN】	機会を提供し、自立心や自主性を育む事業
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	登下校を含む簡易宿泊所での衣食住の日常生活を共同で送る		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		2,402	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		400	282	0			
	一般財源	千円		3,193	1,896	8,486			
	事業費合計	千円		5,995	2,178	8,486			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
参加者数	人	実績値が目標値以上となること	目標値	364	416	362	386	350
			実績値	381				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	94%の児童の参加を得られ、日常生活を共同で生活することができたことはよかった。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	調理や洗濯などの生活に必要な体験を提供できたことが評価できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	県地域創生総合支援事業（サポート事業）補助申請中

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	事業の目的は、登下校を含む簡易宿泊所での衣食住の日常生活を共同で送る機会を提供し、自立心や自主性を育むことを目的とし、持続可能な事業としていく。

整理番号
132

事務事業評価表

令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	生涯学習推進事業（再掲）				担当課	生涯学習課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係	生涯学習係
施策項目	3	生涯学習			計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	2	学習機会の充実支援			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	10	5	1	生涯学習推進事業費	

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが生涯にわたって自ら学び、その成果が本市のまちづくりに活かされる生涯学習社会の形成に向け、総合的な学習環境づくりを進めます。		
事業概要【PLAN】	全ての市民があらゆる機会、あらゆる場所を利用して自ら文化的教養を高められるような環境を醸成するため、各種講座、学級を開催するとともに、地域自治組織等が主催する生涯学習事業に対して支援を行います。		
対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民自ら社会教育や生涯学習のできる環境を整え、自主的に生涯学習や社会教育に取り組むことができる。すべての市民が自主的に活動できるようになる。
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	生涯学習指導員等の助言により市民自らが、地域に暮らす人々の自主的な学びにつながるよう、生涯学習指導員が講座等を主催するとともに、地域自治組織などの団体を支援する。		

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		798	883	1,655			
	事業費合計	千円		798	883	1,655			

（１）伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】								
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
講座数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	14	16	18	20	22
			実績値	11				
			達成率	78.6%				

（２）チェック項目による評価【CHECK】		
	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	平成26年度公民館が交流館へ移行となり、各地区公民館で実施していた公民館事業が地域自治組織での自主的取り組みができるよう教育委員会が主催の高齢者講座、女性講座を実施し支援を行っている。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	講座に参加する人数は増加しており、地域コミュニティの一つとなっている。今後は講座参加者が自主的にサークル活動を行うことにより地域の活性化が期待できる。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	市主催の出前講座を利用するなど歳出の削減に取り組んでいる。

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】			
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	地域毎に開催している教育委員会主催の各種講座は参加者や講座内容の固定化が課題である。全市民を対象としたカテゴリ別、年代や男女を問わない講座の開催の実施により課題解決の糸口となることが考えられる。

整理番号		事務事業評価表 令和５年度実施事業				部 長		課 長		係 長		担当者		
133														
事業名		図書資料購入事業						担当課		生涯学習課				
基本目標		3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち						担当係		図書館業務係			
施策項目		3	生涯学習						計画期間		令和５年度 ～ 令和５年度			
主な取組		3	図書館の充実と読書活動の促進						事業区分		直営			
予算科目		会計	款	項	目	大事業								
		1	10	5	4	図書資料購入事業								
目的と方針【PLAN】		市民一人ひとりが生涯にわたって自ら学び、その成果が本市のまちづくりに活かされる生涯学習社会の形成に向け、総合的な学習環境づくりを進めます。												
事業概要【PLAN】		長期的な視点で利用状況を総合的に判断しながら、市立図書館及び各中央交流館図書室の図書（電子図書を含む）を購入します。												
対象【PLAN】		伊達市民（福島市民、伊達郡内各町村民）				意図【PLAN】		市民の教養と文化の振興を図り、豊かな心を育むため選書基準に沿った選書を行い、図書資料を購入し利用者に提供する。						
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		図書館や電子図書館を利用し、知識や情報を得ることを目的とする利用者のため、また市民の読書活動を推進するために、伊達市立図書館資料収集方針及び選書基準に沿った選書を行いつつ、市民のニーズも考慮し、多くの方に利用してもらえる資料を購入する。												
事業費【D0】			年度			04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度			
			単位			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)			
財源内訳	国庫支出金		千円			0	0	0						
	都道府県支出金		千円			0	0	0						
	地方債		千円			0	0	0						
	その他		千円			0	0	0						
	一般財源		千円			4,854	5,333	5,509						
	事業費合計		千円			4,854	5,333	5,509						
(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】														
指標名			単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度				
新規購入冊数 (紙図書)			冊	実績値が目標値以上となること	目標値	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300				
					実績値	2,137								
					達成率	92.9%								
新規購入冊数 (電子図書)			冊	実績値が目標値以上となること	目標値	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000				
					実績値	183								
					達成率	18.3%								
(２)チェック項目による評価【CHECK】														
評価視点						評価の結果								
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか					・書籍、新聞、雑誌などを読むため、借りるために多くの方が図書館、図書室を利用しており紙図書資料のニーズがある。また、電子書籍は伊達市DX推進方針にある暮らしの向上、地域コミュニティの活性化にも付与し、来館困難者や高齢者、障がい者も利用できるコンテンツであることからニーズがある。 ・学びや教養のための図書資料を金銭的負担なく利用できるため、社会的需要がある。 ・多くの方に利用される施設、コンテンツとして蔵書の充実を図り必要があるため優先度が高い。								
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか					・伊達市立図書館資料収集方針及び選書基準に沿った選書をおこない、すべての年齢層に対応した図書を揃えることで、総合的な学習環境づくりができる。 ・必要な資料が金銭的負担なく利用できることから、多くの利用者のニーズにこたえられる資料をそろえることで満足いただける。 ・特に電子書籍は、来館困難者や高齢者、障がい者にも利用いただけるコンテンツであることから社会貢献度は高い。								
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか					・限りある予算で、多くの方にご利用いただけるように、市立図書館の本を交流館図書室に展示し、貸し出す取り組みを行った。展示した本の半数以上が借りられており効果があった。また、寄贈図書の受入指針にそって、積極的に受け入れた。また、電子書籍についてはR６年度は安価で多くの本が読めるレンタル型も併用し、多く								
(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】														
今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など				限られた財源で多くの方に満足いただけるような工夫に取り組んではいるが、物価の高騰に伴い図書資料代も高くなっていること、自分ではなかなか購入できない市民の利用増が見込まれることから、今以上の蔵書の充実を変える必要がある。								

整理番号		134			事務事業評価表		令和5年度実施事業		部 長	課 長	係 長	担当者			
事業名		図書館運営事業			担当課		生涯学習課								
基本目標		3 未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係		図書館業務係								
施策項目		3 生涯学習			計画期間		令和5年度 ～ 令和5年度								
主な取組		3 図書館の充実と読書活動の促進			事業区分		一部委託								
予算科目		会計	款	項	目	大事業									
		1	10	5	4	図書館運営事業									
目的と方針【PLAN】		市民一人ひとりが生涯にわたって自ら学び、その成果が本市のまちづくりに活かされる生涯学習社会の形成に向け、総合的な学習環境づくりを進めます。													
事業概要【PLAN】		市立図書館および保原中央交流館図書室において、市民に利用しやすい図書館を目指した運営を図ります。													
対象【PLAN】		伊達市民（福島市民、伊達郡内各町民）			意図【PLAN】		市民の教養と文化の振興を図り、豊かな心を育むため、市立図書館及び保原中央交流館図書室の運営を行う。								
意図の実現のために必要なこと【PLAN】		選書や図書の装備、登録など専門的な知識が必要な業務のために司書を配置し、蔵書の充実を図る。また、利用者が開館中いつでも必要なサービスを受けられるよう、レファレンスや本の分類等の専門知識を持った事業者窓口業務を委託し、サービスの向上を図る。													
事業費【D0】		年度単位		04年度（実績）		05年度（実績）		06年度（予算）		07年度（予算）		08年度（予算）		09年度（予算）	
財 源 内 訳	国庫支出金		千円		0	0	0								
	都道府県支出金		千円		0	0	0								
	地方債		千円		0	0	0								
	その他		千円		0	0	0								
	一般財源		千円		20,431	20,340	29,531								
	事業費合計		千円		20,431	20,340	29,531								
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】															
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度						
図書館利用登録者数		人	実績値が目標値以上となること	目標値	20,150	20,908	21,666	22,424	23,182						
				実績値	24,168										
				達成率	100.0%										
(2) チェック項目による評価【CHECK】															
		評価視点				評価の結果									
必要性		・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか				・ 書籍、新聞、雑誌などを読むため、借りるために多くの方が図書館、図書室を利用しておりニーズがある。 ・ 金銭的負担がない、学びや教養の場として社会的に需要があり、必要なものである。 ・ 恒常的に利用され、利用者の年齢を選ばない施設であることから優先度が高い。									
有効性		・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか				・ 登録者は増加しているため、その登録者に継続して利用いただける取り組みを行うことで利用者数の増加が見込まれる。 ・ 図書資料の充実を図るほか、的確なレファレンスサービスや、探している本がない場合の相互貸借やリクエストなどの取り組みで満足度の向上が見込まれる。									
効率性		・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				・ 書架が不足していたが、廃校の書架を譲り受けて設置するなどの利活用を行った。（伊達2基、保原2基） ・ 司書の業務負担が多く、超過勤務が毎月のように発生していたため、令和6年度は司書を1名増するとともに読書推進コーディネーターを1名減した。									
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】															
今後の方向性		維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		物価の高騰に伴い、書籍や新聞も値上がりしているため、図書館利用者は増加すると見込まれる。利用者に必要なサービスを提供するために、専門的知識を持つ司書や、委託事業者によるサービスの提供を継続して行う必要がある。										

整理番号
135

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	生涯学習指導員配置事業（再掲）				担当課	生涯学習課
基本目標	3	未来を拓く人を育む教育・文化のまち			担当係	生涯学習係
施策項目	3	生涯学習			計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	4	関係団体の育成			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	10	5	1	生涯学習推進事業費	

目的と方針【PLAN】	市民一人ひとりが生涯にわたって自ら学び、その成果が本市のまちづくりに活かされる生涯学習社会の形成に向け、総合的な学習環境づくりを進めます。					
-------------	---	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	社会教育をはじめとした生涯学習に関する相談支援に加え、社会教育関係団体の育成を支援するため指導員を配置します。					
------------	---	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市民	意図【PLAN】	市民一人ひとりが生涯にわたって自ら学べる場			
----------	----	----------	-----------------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	各地区自治組織の中に生涯学習の中心的リーダーが存在し、市民が自主的に学ぶことができる講座等を開催している。					
----------------------	---	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度 (実績)	05年度 (実績)	06年度 (予算)	07年度 (予算)	08年度 (予算)	09年度 (予算)
		単位							
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0	0			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		0	0	0			
	一般財源	千円		16,606	13,119	16,609			
	事業費合計	千円		16,606	13,119	16,609			

（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
学習団体、サークル数	団体	実績値が目標値以下となること	目標値	710	710	710	710	710
			実績値	697				
			達成率	100.0%				

（２）チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	地域で行う事業の円滑な推進のため生涯学習指導員を設置し、指導助言に当たる。また、引き続き市民対象の講座等の開催を担当。市民の自主的な活動につながる様支援が必要である。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	交流館を拠点としたサークル活動が盛んになっているがその正確な数字を毎年調べる必要がある
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	各地域によって教室と人数が違うため令和７年度に平準化を検討する。

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	市主催の講座が市民が主体的に活動できるサークルに結びつくよう支援する。
--------	----	-------------------------	-------------------------------------